



開催日時：2019年3月3日（日）14時00分~16時00分

場所：まちなかキャンパスうえだ

実施概要

現代生活の環境変化に合わせる形で、ホームファッションの様式も変化してきている。特に、それらの購入時においては、機能性（特に快適性）を追究した新素材や、価格などの面を含めて購入に際して気軽さを追究した商品を選択する傾向が増えてきている。一方で、「安全・安心」性を重視して商品の購入については、普段の生活の中でどこまで意識しているだろうか。「食」については、健康面での「安全・安心」性は購入時に気を配ることがあるが、「ホームファッション」の「安全・安心」性については二の次になることが多い。「防災」という点から考えて見ると、公共の建物や商業施設では「安全」に関する規制が義務づけられており、場所に応じて「防災品」の使用が義務づけられている。一方、家庭においては、規制は無く、個人の判断で購入しているのが現状である。そこで、一度、「ホームファッション」の「安全・安心」性について考えるべく、今企画を実施した。

「ホームファッション」の「安全・安心」性と密接に関連してくるのが「火災」であり、特に、「思い出の品」など家庭の中で火災から守りたいモノは沢山ある。それらを防災することや、防災性能を有する防災品を使用することで、火災の発生・拡大を抑制し、避難に時間を要する高齢者にとっては、そのための時間的余裕をつくることもできる。このようなことから、参加者と「大切なものをまもるホームファッション」についてワークショップを通して考えた。

プログラム

1. アイスブレイク

- ・「炎」から連想されるモノってなにがある？
 - ・身の回りで何を守りたい？
2. (情報提供)「火災の現状」について
 3. ワーク：身近な防災について考えよう
 4. (情報提供)「防災の現状と可能性」
 5. ワーク：「大切なものをまもるホームファッション」とは？
 6. まとめ
- 情報提供者：若月薫准教授（信州大学繊維学部）

参加者数：9名

当時の様子：

参加者同士が気軽に意見交換ができるよう、アイスブレイクとして「火」「炎」から連想されるものを参加者を2グループに分け、出し合った。「コンロ」など火や炎に直接関連するものから、「煙」や「熱」など、連想から生まれるものなど、各グループとも40個近いワードが出た。次に、どの様な場面から火災が起こるのか、長野県の火災のホームファッションに潜む火災の危険性について、アイスブレイクででてきたワードも関連付けながらの情報提供がなされた。次に、「火災から守りたいもの」や「身近な防災製品」について、それぞれブレインストーミングを行った。

「火災から守りたいもの」としては、家族など人に関すること、思い出の絵本や情報/データや大切にしているモノ、地域などの火災災害や森林火災などの大規模災害についても意見がでた。また、「身近な防災製品」としては、カーテンやカーペット 防災マーク 段ボールなど意外な製品が防災されていることが 若月准教授より紹介された。その上で、「防災の現状と可能性」について講演を聴き、製品に対する「防災」とは、モノを燃えない、もしくは、燃えにくくする「製品の安全性」だけではなく、モノを使用する人がヒューマンエラーを起こさないようにすることも防災につながるということが伝えられた。また、防災製品の性能に関する映像やどこで購入できるのかなどについての紹介もされた。

最後に、「大切なものをまもるホームファッション」について、「守りたいモノはなにか?」「守るためにどうする?」「どうして守りたいの?」の3つの視点から参加者のグループワークを通して考え、次の様な意見が出た。

- ・大切な家族を守るために、ヒューマンエラーに注意した火の取り扱いや製品の選択をしたい。
- ・失うと手続きが煩雑になる「印鑑」を火災から守るために、常に身に付けて行動する、防火金庫（袋）などにいれて保管する。

このように、参加者から具体的な行動に対する意見が出され、実際に行動としてどの様に取り組んで行くかが重要になる。また、そのための機会を儲けておくことが大事である。

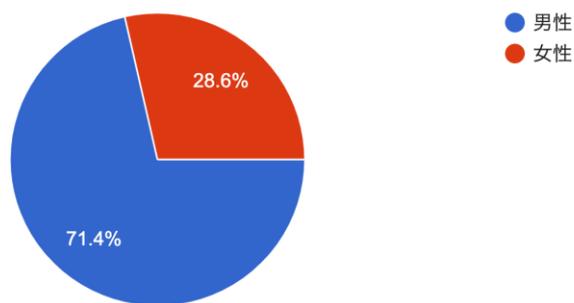




アンケート結果：回答数 9 件（回収率：8/9）

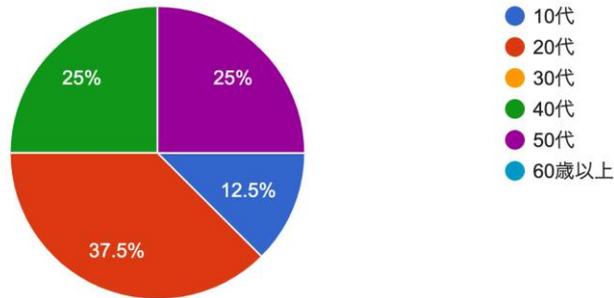
Q1.性別

7 件の回答



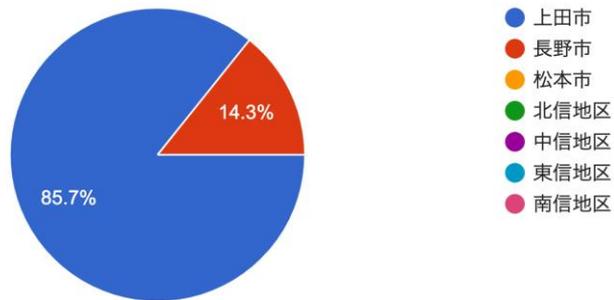
Q2.年齢

8件の回答



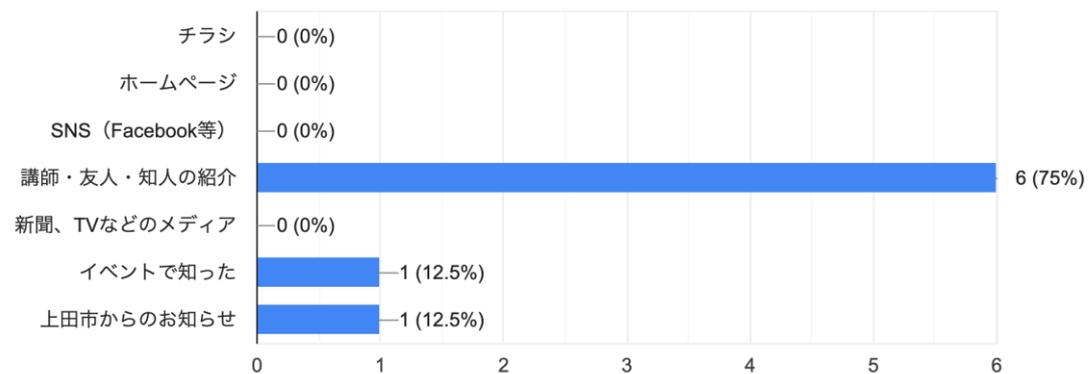
Q3.お住まいの地方

7件の回答



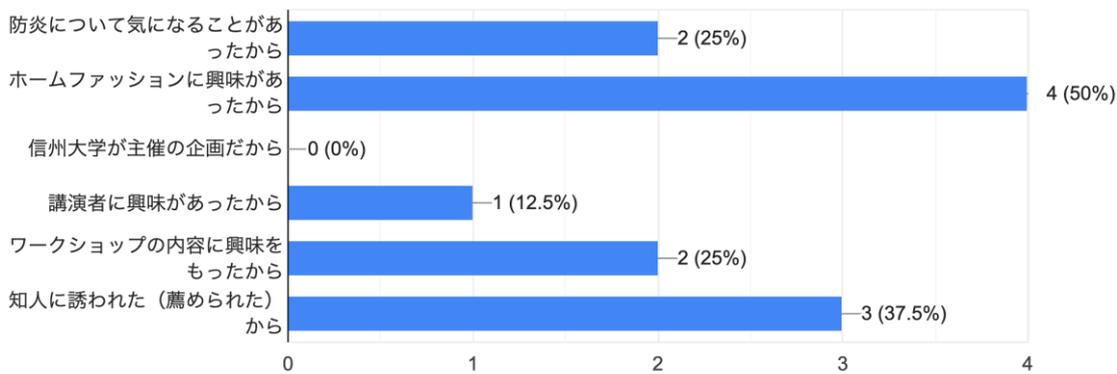
Q4. 本ワークショップを知ったきっかけをお答えください。

8件の回答



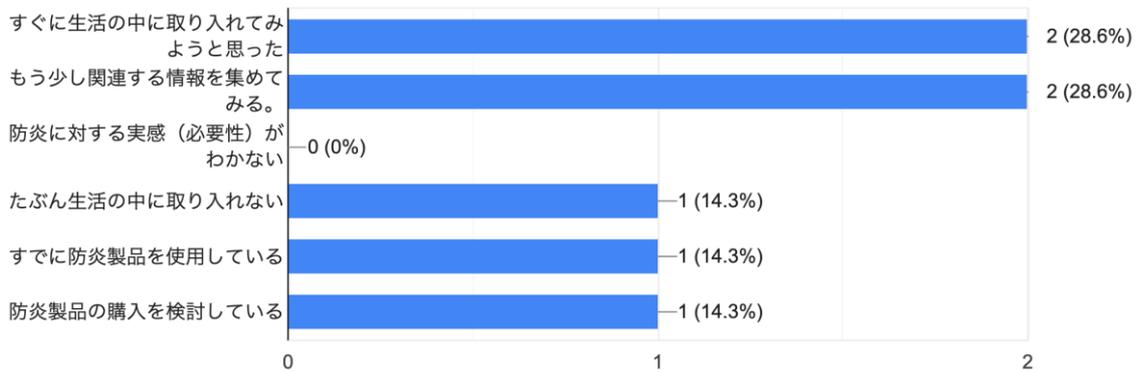
Q5.参加しようと思った理由をお答えください。（複数回答可）

8件の回答



Q6. 防災に対する印象をお答えください。（一つのみ回答）

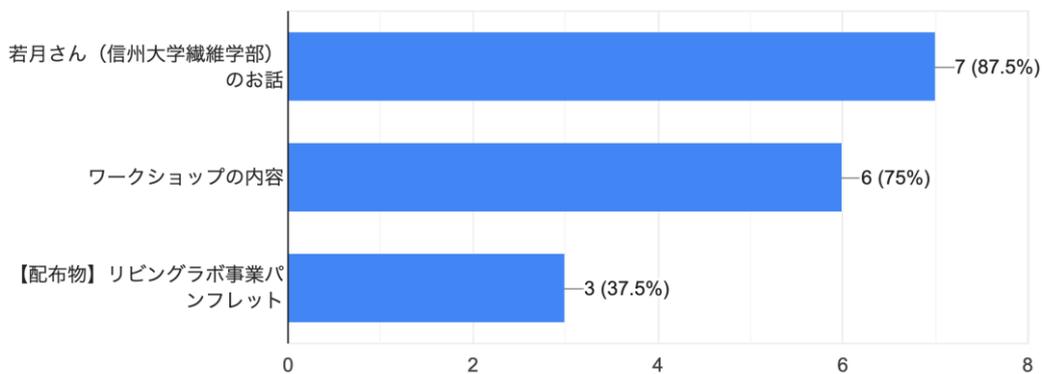
7件の回答



Q7.

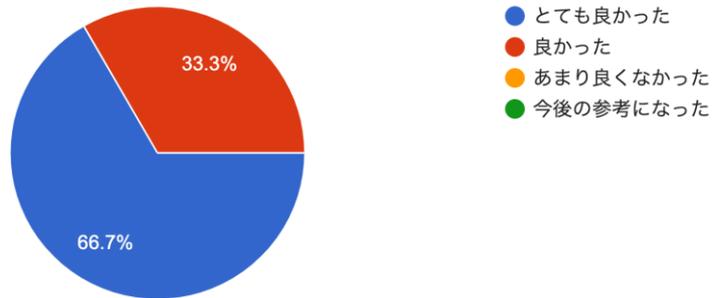
興味を持った講演/企画はどれでした...までお答えください。（複数回答可）

8件の回答



Q8.本日の教室内容の満足度についてお答えください。

6件の回答



Q9.「火災」または「災害」について、普段から気をつけられていること、または、取り組まれていることがあればご記入ください。

7件の回答

予防広報を消防団で行っている。

外出前のガス元栓、ストーブ確認

部屋を散らかさない

火災が起きたとき最低限持ち出すものを確認

火の後始末、ストーブの消し忘れ注意

非常持ち出し袋の用意、避難場所の確認、火の元の確認

火の用心、ヒューマンエラーを起こさないようにしている。

